

○香南香美老人ホーム組合一般会計財政調整基金条例

〔平成 25 年 12 月 27 日〕
〔 条 例 第 5 号 〕

(設置)

第 1 条 香南香美老人ホーム組合財政の健全な運営に資するため、香南香美老人ホーム組合一般会計財政調整基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立)

第 2 条 基金に積み立てる金額は、地方財政法（昭和 23 年法律第 109 号。以下「法」という。）第 7 条第 1 項の規定により、各会計年度において歳入歳出の決算上生じた剰余金（以下「決算剰余金」という。）のうち 2 分の 1 を下らない額（1,000 円未満の端数は、これを切り上げる。）とする。

2 法第 7 条第 1 項に規定する積立は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条の 2ただし書の規定に基づき、決算剰余金から積み立てるものとする。

3 決算剰余金は、当該年度において新たに生じた剰余金から、当該年度の翌年度に繰り越した歳出予算の財源に充てるべき金額（継続事業及び繰越事業の支出財源として繰り越した金額を含む。）を控除して、これを計算する。

4 前項に定めるもののほか、財政運営上必要があると認めるときは、必要額を歳入歳出予算に計上して積み立てることができる。

(管理)

第 3 条 基金は、金融機関への預金、その他確実かつ有利な方法によって運用しなければならない。

(運用益金の処理)

第 4 条 基金の運用から生じる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に編入するものとする。

(繰替運用)

第 5 条 組合長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(処分)

第 6 条 基金は、次の各号の一つに掲げる場合に限り、これを処分することができる。

(1) 経済情勢の著しい変動等により財源が著しく不足する場合において、当該不足額をうめるための財源に充てる時。

(2) 長期にわたる財源の育成のためにする財産の取得等のための経費の財源に充てる時。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、組合長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行し、平成25年6月1日から適用する。
(三宝荘財政調整基金条例の廃止)
- 2 三宝荘財政調整基金条例(昭和62年条例第16号)は、廃止する。
(白寿荘財政調整基金条例の廃止)
- 3 白寿荘財政調整基金条例(平成9年条例第1号)は、廃止する。
(経過措置)
- 4 この条例の施行の日の前日までに、三宝荘財政調整基金条例(昭和62年条例第16号)及び白寿荘財政調整基金条例(平成9年条例第1号)の規定により積み立てられた現金は、それぞれこの条例により積み立てられた基金とみなす。